

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 10 日時点

事務事業名	コード 18800	がん検診事業	予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 2	担当班	成人保健班
基本施策	5	保健・医療の充実	根拠法令	健康増進法、がん対策基本法			事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業	
施策の展開	12	病気予防対策の充実	戦略事業	54 がん検診事業			戦略事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する。行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 40 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	・早期発見・早期治療によりがん死亡を減少させるため、各種がん検診を実施する。具体的には、①胃がん検診(+ピロリ菌検査)②子宮がん検診③乳がん(マンモグラフィ・超音波)検診④肺がん検診を集団検診として実施し、⑤大腸がん検診⑥前立腺がん検診は国保特定健診と同時実施とし、集団検診の他、医療機関でも受診可能としている。 ・平成24年度から検診料金を一部自己負担とし、胃がん・子宮がん・乳がんは500円、ピロリ菌・大腸がんは200円、前立腺がんは300円徴収している。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
・胃がん検診は昭和40年、子宮がん検診は昭和42年に開始した。昭和58年に施行された老人保健法に基づき、肺がん・乳がん検診を開始、平成4年から大腸がん検診が追加となり開始する。	・がん検診受診率を算定するに当たり、平成29年度から、国保被保険者の人間ドック受診情報を登録開始したが、職種で受診している情報は反映できていない。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・レディースデイは、半日で4種類受診可なため、とても好評である。 ・新規申込みの方法として電子申請を取り入れ、その利用率が高いことから、有効な方法と思われる。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円

1.委託料	9,646	がん検診委託料、がん精密検査委託料ほか
2.役務費	2,039	遣遣搬費
3.需用費	1,141	消耗品費、印刷製本費
4.賃金	42	臨時職員賃金
5.その他	5	がん検診時駐車場借上謝礼

② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円

1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	
3.地方債	
4.その他	

費目内訳	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
1.委託料	千円	81,754	82,745	86,940	9,646	99,569
2.役務費	千円	3,491	4,005	4,027	2,039	4,600
3.需用費	千円	1,234	1,215	1,308	1,141	1,388
4.賃金	千円	793	815	1,049	42	2,684
5.その他	千円	53	5	5	5	165
事業費計(A)	千円	87,325	88,785	93,329	12,873	108,406
1.国庫支出金	千円	90	91	72		
2.都道府県支出金	千円					
3.地方債	千円					
4.その他	千円					
5.一般財源	千円	87,235	88,694	93,257	12,873	108,406

前年度増減理由

コロナウイルス感染症流行に伴い、集団検診を中止した為減少した。

従事職員数 常時 2人 最大 人 × 日 = 延べ 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団検診を中止した。令和3年度に向け、年度末には節目年齢の方へ個別に受診勧奨を実施した。令和3年度は感染対策のための対策を十分検討した。	ア 検診実施日数	日	38	41	41	0	35
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象 ・胃・大腸・肺がんは40歳以上の市民・子宮頸がんは20歳以上の女性 意図 ・早期にがんが発見できる ・早期にがんの治療ができる	ア 検診受診率(胃がん)	%	12.3	11.9	12.3	0.0	12.3
意図		イ 集団検診精密検査受診率(胃がん)	%	98.0	95.1	96.5	0.0	96.5

(4) 事務事業優先度評価の結果

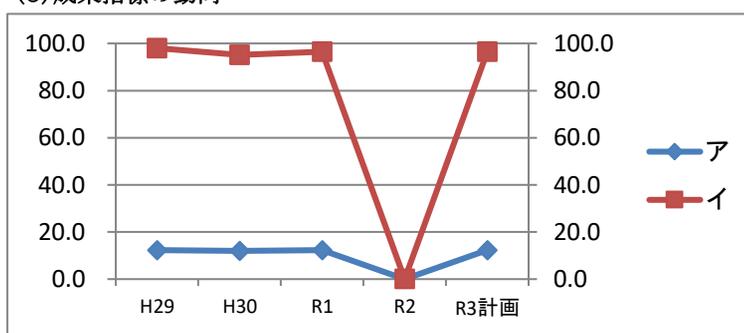
① 成果優先度評価結果

施策貢献度	成果向上余地	成果優先度		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい		②		
普通				
小さい				

② コスト削減優先度評価結果

評価結果	成果優先度	コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
①				
②		(2)		
③				
④⑤				
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input checked="" type="checkbox"/> 実施困難				
【コメント】	新型コロナウイルス感染症流行により令和2年度は集団検診を中止した。				
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	数値増=成果向上	比較
【コメント】	新型コロナウイルス感染症流行により令和2年度の集団検診を中止した為				
③ 今年度取組事項	時期	内容	今後の方向性	現状維持	見直し
(3年度に取り組み主な事項について記載)	5月～7月	感染症予防を徹底して実施する。(予約枠を細分化し検診会場と検診車内の人数制限をする。2会場同時実施することで、1会場での検診数を減らし、滞在時間を短縮する。定期的な換気と消毒、出入口での手指消毒・検温実施。)	R4.1～	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> その他( )
				感染症対策を徹底して実施。休日予約枠を希望者に充てられるよう、自動割り振りの際の人数を今まで以上に調整する。	